



岡山県金融経済月報 (2022年6月)

1. 概況

県内景気は、新型コロナウイルス感染症の影響などから一部に下押し圧力が続いているものの、持ち直している。

最終需要をみると、個人消費は、徐々に持ち直している。設備投資は、高水準となっている。住宅投資は、増加している。公共投資は、高めの水準で推移している。輸出は、増加基調にある。

こうしたなか、県内主要製造業の生産は、緩やかに持ち直している。

雇用・所得環境をみると、労働需給は緩やかに改善している一方、雇用者所得は下押し圧力が強い状態にある。

2. 実体経済

(1) 最終需要

個人消費は、感染症の影響などからサービス消費を中心に下押し圧力が続いているものの、徐々に持ち直している。

百貨店・スーパー売上高は、持ち直している。乗用車販売は、供給制約の影響から足踏み状態が続いている。家電販売は、底堅い動きとなっている。

この間、主要観光地への入り込みは、低水準ながら持ち直している。

設備投資は、高水準となっている。

3月短観調査における県内企業の設備投資額(全産業)は、2021年度は増加計画となっている一方、2022年度は減少計画となっている。

住宅投資は、増加している。

公共投資は、高めの水準で推移している。

輸出は、増加基調にある。

(2) 生産

県内主要製造業の生産は、緩やかに持ち直している。

業 種	足もとの生産動向
自動車	供給制約の影響から弱めの動きとなっている。
鉄 鋼	横ばい圏内の動きとなっている。
化 学	高めの水準となっている。
石油・石炭	緩やかに持ち直している。
造 船	緩やかに持ち直している。
織 維	弱めの動きとなっている。
電気機械	高操業となっている。
窯業・土石	高めの水準となっている。
農 機 具	供給制約の影響から操業度が低下している。
工作機械	緩やかに持ち直している。

(3) 雇用・所得

労働需給は、引き締まった状態が続いており、感染症の影響を残しつつも、緩やかに改善している。雇用者所得は、感染症による下押し圧力が強い状態にある。

(4) 物価

4月の消費者物価（岡山市、生鮮食品を除く総合）は、前年を上回った。




(5) 倒産

4月の企業倒産（負債総額 10 百万円以上）は、倒産件数は前年を上回った一方、負債総額は前年を下回った。

3. 金融（4月分）

県内実質預金は、前年を上回った。県内貸出は、前年を上回った。貸出約定平均金利（総平均）は、新規実行ベースは前月比上昇した一方、ストックベースは前月比低下した。

以 上

<p>内容についてのご照会は下記までお願いします。 〒700-8707 岡山市北区丸の内 1-6-1 日本銀行岡山支店総務課 TEL086-227-5111(代表) ホームページアドレス https://www3.boj.or.jp/okayama/</p> <p>知るぼると 岡山はこちら!!</p>  	<p>100th anniversary</p>  <p><small>出典 広報はにちさん 2014年秋号(表紙・裏 北村公明氏)</small></p>
---	---